

10月10日(日)10:00~11:30 赤羽文化センター第一視聴覚室で、10月例会を開催しました。今回の手話学習は対面のみでの開催となりました。講師は五十嵐郁子先生。24名の方にご来場いただきました。



今回の例文～復習してみましょう～

(1) 政府は10月から「緊急事態宣言」、「まん延防止等重点措置」を解除しました。

表現のポイント

- ・時事用語の表現 ➡ 長い時事用語を表すときは、「まん延→流行る」+「防止等→防止」+「重点措置→措置」の3つの手話単語でリズミカルに表現してみてください。

(2) 秋篠宮様の次女佳子様が、赤坂のお住まいからご視聴になり、手話でご挨拶をされ、表現者に（手話の）拍手を送られました。

表現のポイント

- ・敬語の表現 ➡ 手話に「尊敬語」「謙譲語」「丁寧語」は存在しませんが、手話の動作をいつもより少しだけ丁寧にゆっくり表現することで、相手に丁寧な印象を与えることができます。



参加者の声：Aさん

今回も勉強会の開催をありがとうございました。五十嵐先生の教え方、表現方法、タイミング等いろいろと勉強になりました。

参加者の声：Bさん

久しぶりに会場に来ることができ、本当に楽しかったです。初めて知り合った方を含め、5人でランチをして、夕方の4時までおしゃべりが弾みました。Zoomができないので、対面での開催にうれしく思いました。



コミ男とモア子のしゅわ談義



コミ男：コロナの新感染者数が少しずつ落ち着いてきたので、コミモアの例会も対面の手話学習会になったけれど、どう感じた？

モア子：機器を通して教わると、足を運んで目の前でじかに教えていただくのと、まず雰囲気が違いますね。参加された方と同じ空気、同じ場を共有しているという「つながり」を感じることができました。

コミ男：講師の手話表現で、空間の使い方や表情、指の細かな動きなど、はっきり見ることができたよ。

モア子：はい。でもオンライン開催にも長所がありますから、今後の開催について悩ましいところですね。